

サンプルです。実在の事件の内容とは一切関係ありません。

2014年△月×日

報 告 書	
○○ ○○ 様	〒 231-0023 横浜市中区山下町 70 番地 3 三井住友海上横浜ビル 7 階 Tel:045-227-2238 Fax:045-227-2239 弁護士 伴 広 樹 弁護士 清 水 茂
件 名	
東京地方裁判所 平成△△年(り)第×××号 遺留分減殺請求事件	
裁 判 日	2014年△月×日(水)
今回の裁判のご報告事項	
1 第3回目の期日が開かれました。 今回の期日で相手方は、前回に当方が提出した準備書面に対する反論書である被告準備書面(2)を提出してきました。 相手方は○○銀行××支店の定期預金が遺産に属することを争うと共に、□□市△△町の土地の価額が2500万円を下回ると主張しています。また、原告が生前に贈与を受けているという主張もしています。	
2 これに対し当方では、上記定期預金は被相続人がご自身の金銭を預け入れたものであることを証明する○○銀行担当者の陳述書を次回までに提出する予定です。また、△△町の土地の評価額が少なくとも3500万円を上回ることを示すため、○興産(株)及び(株)△△土地建物に評価書の作成を依頼し、裁判所に提出する予定です。 さらに上記と並行して、原告が生前贈与を受けているという相手方の主張に対する反論の準備書面の作成も行い、次回までに提出する予定です。	
3 準備書面の詳しい内容を確定するため、打合せをお願いいたします。この報告書が届いた頃にこちらからお電話をいたしますので、日程を調整させて下さい。	
提出書類等	1 当方提出分(同封) 証拠説明書(H26.1.23付)、甲3~6号証 2 相手方提出分(同封) 被告準備書面(2)
次回の裁判日	2014年○月○日(水)PM3時
次回裁判へのご出席の必要	出席の必要はありません。